

# 2024年度 前期

## 留学生教育・支援センター

### 日本語プログラム「中級Ⅱ」シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅱ 会話	火4	古本	… 1
中級Ⅱ 作文	月1	安田	… 2
中級Ⅱ 読解	木1・2	小谷	… 3
中級Ⅱ 聴解	月2	小谷	… 4
中級Ⅱ 漢字	火2	野田	… 5

2024 年度 前期	曜日・校時	火曜日・4 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本 裕美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題および身近で個人的に関心がある事について、楽に自信をもって積極的に話すことができる。(2) 予期しなかった状況や物語の内容などについて詳細に説明することができる。(3) カジュアルに話すためのルールを知り、それを使いながら日本語の雑談が友達とできる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
前半は、ロールプレイなどをおしてその場面に必要な表現を練習します。後半は、カジュアルな日本語で友だちと会話ができるようになるための練習をします。また、「分かっているけど間違える」ということを少なくし、スムーズに会話のやりとりをする力をつけるためにシャドーイングの練習もします。				
第1週	4/9	オリエンテーション		
第2週	4/16	きっかけについて分かりやすく説明する		
第3週	4/23	人の外見や物について詳しく描写する		
第4週	5/7	ハプニングについて詳しく説明する (1), シャドーイングテスト (1)		
第5週	5/14	ハプニングについて詳しく説明する (2)		
第6週	5/21	好きなドラマや映画の内容について詳しく説明する		
第7週	5/28	社会的な話題を論理的に説明する, シャドーイングテスト (2)		
第8週	6/4	社会的な話題に対する自分の意見を述べる		
第9週	6/11	雑談:カジュアルに話す (1)		
第10週	6/18	// :カジュアルに話す (2), シャドーイングテスト (3)		
第11週	6/25	// :上手にあいづちを使って聞き上手になる (1)		
第12週	7/2	// :上手にあいづちを使って聞き上手になる (2)		
第13週	7/9	// :話し相手に共感を示しながら話す, シャドーイングテスト (4)		
第14週	7/23	// :不安や不満に思っていることを共有しながら話す		
第15週	7/30	// :話す話題が見つからないときに対処する		
第16週	TBA	口頭試験, シャドーイングテスト (5)		
教科書・教材等	『シャドーイング もっと話せる日本語 初～中級編:英語・中国語・ベトナム語訳付き』 (迫田久美子(監修), くろしお出版, ISBN= 978-4874249529, 1650 円)			
成績評価の方法・基準等	(1) Voicethread を使った独話練習(宿題):25% (2) シャドーイング(宿題・練習・テスト):25% (3) 授業での積極的な学習態度:45% (4) 口頭試験:5% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考 (準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2024年度前期	曜日・校時	月曜日   校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	安田 真由美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	大学で必要とされるアカデミック・ライティングにふさわしい日本語のスタイル, 適切な言語表現, 説得力のある内容・構成で文章が書けるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書を使用し, 2~3回の授業で1課を終えるペースで授業を進める。授業内では, アカデミック・ライティングにふさわしい日本語のスタイル, 言語表現, 内容・構成について学び, まとまりやつながりが明確でわかりやすい文章を書く練習を行う。各課で宿題の提出を求める。

第1週	4月8日	オリエンテーション, 第1課 アカデミック・ライティングへの準備(1)
第2週	4月15日	第1課 アカデミック・ライティングへの準備(2)
第3週	4月22日	第2課 日本・日本人(1)
第4週	5月13日	第2課 日本・日本人(2)
第5週	5月20日	第2課 日本・日本人(3), 第3課 テクノロジー(1)
第6週	5月27日	第3課 テクノロジー(2)
第7週	6月3日	第3課 テクノロジー(3), 第4課 教育(1)
第8週	6月10日	第4課 教育(2)
第9週	6月17日	第4課 教育(3), 第5課 ニュース(1)
第10週	6月24日	第5課 ニュース(2)
第11週	7月1日	第5課 ニュース(3), 第6課 働き方(1)
第12週	7月8日	第6課 働き方(2)
	7月16日(火)	休講(長崎大学は月曜日の授業を実施)
第13週	7月22日	第6課 働き方(3), 第7課 持続可能な世界:SDGs を考える(1)
第14週	7月29日	第7課 持続可能な世界:SDGs を考える(2)
第15週	8月5日	第7課 持続可能な世界:SDGs を考える(3)

教科書・教材等	伊集院郁子・高野愛子『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』アスク出版
成績評価の方法・基準等	各課の課題60%, 期末レポート(テーマに沿った作文)20%, 参加度20% 注意: 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は, 成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により, テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが, 日時の変更が認められた場合, 点数は獲得点数の90%となる。

2024 年度 前期	曜日・校時	木曜日・1校時、2校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級Ⅱ読解			
担当教員名	小谷裕子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	文章の構成を理解し、文章全体の意味をとらえることができる。また、文章の細部を正確に読み取ることができる。様々なトピックの文章を読むことで、語彙力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

予習を前提として授業を進めますので、必ず予習をしてきてください。課ごとに語彙や文法・文型の確認として、本文と関連のあるテーマで短作文を書く宿題を課します。

第1週	4/11	オリエンテーション / 1課 色	1課 色
第2週	4/18	1課 色	2課 ユーモア・ジョーク
第3週	4/25	2課 ユーモア・ジョーク	2課 ユーモア・ジョーク
第4週	5/9	3課 制服	3課 制服
第5週	5/16	3課 制服	4課 算数
第6週	5/23	4課 算数	4課 算数
第7週	5/30	5課 遊びと運動	5課 遊びと運動
第8週	6/6	5課 遊びと運動	中間試験
第9週	6/13	6課 お金	6課 お金
第10週	6/20	6課 お金	7課 水
第11週	6/27	7課 水	7課 水
第12週	7/4	8課 遺伝	8課 遺伝
第13週	7/11	8課 遺伝	9課 漫画・アニメ・本
第14週	7/18	9課 漫画・アニメ・本	9課 漫画・アニメ・本
第15週	7/25	10課 人と動物	10課 人と動物
第16週	8/1	10課 人と動物	期末試験

教科書・教材等	「中級を学ぼう 中級中期」スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 10%、課題 30%、中間試験 30%、期末試験 30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2024 年度 前期	曜日・校時	月曜日 2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	坂本英子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	① 談話などのまとまった文章を聞いて、大意をつかむことができる。 ② 聞きとった言葉や表現をできるだけ多く習得する。 ③ 分からない言葉の意味を推測しながら聞く力をつける。 ④ メモを取りながら聞き、話の内容を短くまとめたり、伝えたりすることができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

各回のトピックを通して日本の社会や文化に触れながら、まとまった文章の要点を聞きとる練習をします。トピックに関係があるニュースや会話なども取り入れていく予定です。毎回小テストを行い、聞きとりの復習を宿題として指示します。

第1週	4/8	オリエンテーション / Topic : 回転寿司
第2週	4/15	Topic : 富士山
第3週	4/22	Topic : 東京の温泉
第4週	5/13	Topic : 信号の話
第5週	5/20	Topic : 隠れキリシタン
第6週	5/27	Topic : 失敗学
第7週	6/3	Topic : 日本語のアクセント
第8週	6/10	Topic : 水族館 / テスト①
第9週	6/17	Topic : 札幌のお祭り
第10週	6/24	Topic : 太鼓のひびき
第11週	7/1	Topic : 長崎の猫
第12週	7/8	Topic : 剣道
第13週	7/16	Topic : 南極
第14週	7/22	Topic : 睡眠不足じゃありませんか
第15週	7/29	Topic : 人類はメン類 / テスト②

教科書・教材等	参考資料
成績評価の方法・基準等	授業への参加度・態度 15%、小テスト 10%、課題 15%、テスト① 30%、テスト② 30% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2024 年度 前期	曜日・校時	火曜日 2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ漢字			
担当教員名	野田 智子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を教科書に沿って復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に沿った適切な漢字語彙が使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

2回の授業でテキスト1課分の漢字を習得します。読みや意味を理解し、その漢字を用いた短文作成が毎回の宿題です。それらを次の授業で発表し、用法を確認しながら進めていきます。

第1週	4/9	オリエンテーション、1課テキスト	宿題:1課 短文作成
第2週	4/16	1課 宿題発表	宿題:2課「覚える」
第3週	4/23	2課 テキスト問題	宿題:2課 短文作成
第4週	5/7	2課 宿題発表	宿題:3課「覚える」
第5週	5/14	3課 テキスト問題	宿題:3課 短文作成
第6週	5/21	3課 宿題発表	宿題:4課「覚える」
第7週	5/28	4課 テキスト問題	宿題:4課 短文作成
第8週	6/4	中間チェックテスト	宿題:5課「覚える」
第9週	6/11	5課 テキスト問題	宿題:5課 短文作成
第10週	6/18	5課 宿題発表	宿題:6課「覚える」
第11週	6/25	6課 テキスト問題	宿題:6課 短文作成
第12週	7/2	6課 宿題発表	宿題:7課「覚える」
第13週	7/9	7課 テキスト問題	宿題:7課 短文作成
第14週	7/23	7課 宿題発表・復習	
第15週	7/30	最終チェックテスト	

教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 上級編』八木真生他著、ココ出版
成績評価の方法・基準等	テスト 30%×2 回、宿題完成度・発表 30%、受講姿勢 10% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

**留学生教育・支援センターで開講されている  
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通枠) のレベル
初級Ⅰ	初級 前半	<p>初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。</li> <li>・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。</li> <li>・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。</li> </ul>	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級 後半	<p>基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。</li> <li>・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。</li> <li>・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。</li> </ul>	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級 前半	<p>基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的话题について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。</li> <li>・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。</li> <li>・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。</li> <li>・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べるができる。</li> </ul>	N3	B1
中級Ⅱ	中級 後半	<p>やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、日常的话题について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。</li> <li>・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。</li> <li>・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。</li> </ul>	N2	B2
上級Ⅰ	上級 前半	<p>高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。</li> <li>・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。</li> <li>・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。</li> <li>・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。</li> </ul>		
上級Ⅱ	上級 後半	<p>高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。</li> <li>・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。</li> <li>・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。</li> <li>・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。</li> </ul>	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ (5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅰ読解 (2 単位, 週 2 コマ)
初級Ⅱ (5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅰ総合 (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅰ会話 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ総合 A (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅰ作文 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ総合 B (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅰ漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ総合 C (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅱ読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅱ総合 D (2 単位, 週 2 コマ)
	中級Ⅱ聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1 単位, 週 1 コマ)
	中級Ⅱ会話 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級Ⅱ作文 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級Ⅱ漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 A (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 B (1 単位, 週 1 コマ)	

\*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成, 2018/01/26 更新)